

令和３年度 福井市男女共同参画推進地域事業
地域団体への男女共同参画に関する
アンケート調査報告書

令和４年４月

1 調査の概要

(1) 目的

福井市では、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会の実現」を目指し、「福井市第5次男女共同参画基本計画」に基づき、様々な施策に取り組んできています。特に地域においては、市が委嘱した各地区の男女共同参画推進員の皆様が中心となり、啓発活動を行うことで、地域の男女共同参画意識の醸成を図っています。

今回、推進員の令和3年度の活動として、地域団体を通して、地域の男女共同参画に関する意識と現状を把握し、令和4年度からスタートする「福井市第6次男女共同参画基本計画」の策定や、今後の地域における男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発活動に反映させることを目的に調査を実施しました。

(2) 調査対象

住民で構成されている地域団体長及び地域団体に所属する会員

自治会連合会、自主防災組織連絡協議会、公民館運営審議会（全地区）

まちづくり団体、PTA、子ども会育成会（14地区）

(3) 調査員

男女共同参画推進員 98名（市内49地区 男女各1名）

(4) 調査期間

令和3年9月～12月

(5) 調査票

①男女共同参画に関するヒアリングシート（地域団体長）

②男女共同参画に関するアンケート調査（地域団体に所属する会員）

(6) 調査回答数

①男女共同参画に関するヒアリングシート（回答団体：187団体）

（単位：団体）

団体	回答団体数
自治会連合会	41
自主防災組織連絡協議会	36
公民館運営審議会	40
まちづくり団体	10
PTA	11
子ども会育成会	7
その他	42

※その他

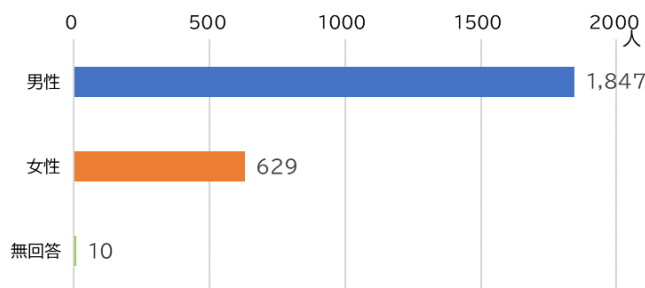
体育振興会、青少年育成福井市民会議など
ブロックが独自に調査した団体

②男女共同参画に関するアンケート調査（回答者：2,486人）

<性別>

（単位：人）

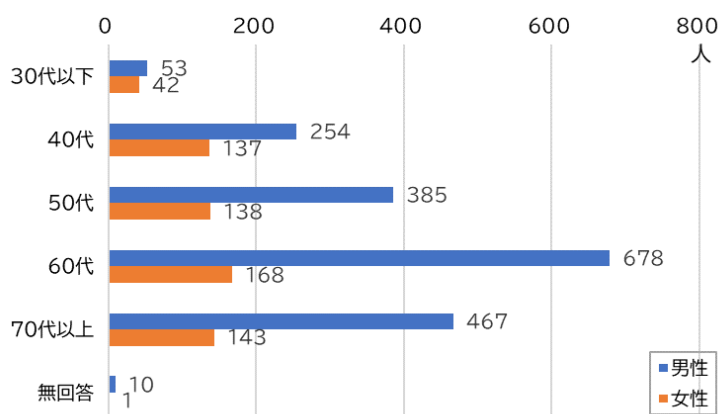
性別	回答者
男性	1,847
女性	629
無回答	10



<年代>

（単位：人）

年代	男性	女性
30代以下	53	42
40代	254	137
50代	385	138
60代	678	168
70代以上	467	143
無回答	10	1



（7）まとめと今後の取組

今回の調査により、女性は家事・育児、PTA等の活動に、男性は自治会や防災・防犯活動等に参加するケースが多いなど、男女間で役割を分担している傾向が伺えました。

また、地域の各種団体では「会長等の役員は男性から選ぶ」ことや「活動内容に応じて、はじめから性別で区別する」というような雰囲気や慣習がありました。

このように、性別により役割が決められてしまう原因として、「固定観念・無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」があると考えられます。そのような意識を解消していくためには、従来からの考え方・制度を見直すことや、地域で暮らす一人ひとりの意識を変えていく必要があります。

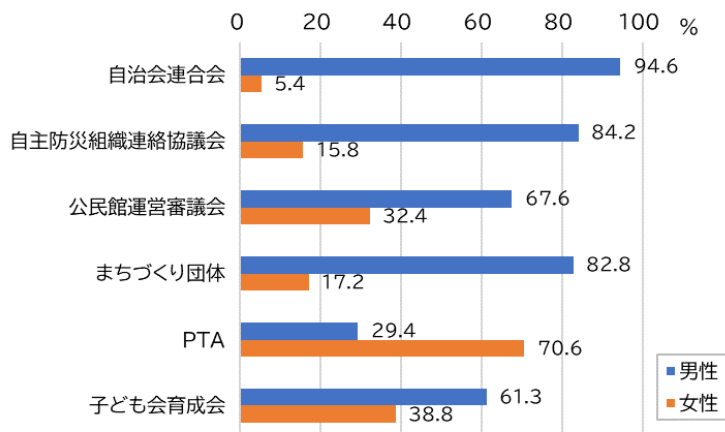
さらに、防災活動や災害時における避難所運営等の対応では、女性の意見を積極的に取り入れるなど、男女双方の視点に立って考えることが求められています。

こうしたことから、市と男女共同参画推進員が起点となり、女性の地域活動への参加の呼び掛けや女性が活動しやすい環境づくり、リーダー的役割を担う女性が増えていくよう働きかけを行っていくことで、地域での男女共同参画意識の醸成を図ってまいります。

これらの取組を進めることにより、目に見える形で男女がともに活躍できる地域になることが地域の活力を生み、持続的な地域コミュニティの活性化に繋がっていくものと考えます。

2 調査結果

<調査回答団体における会員の構成（男女比）>



- (1) あなたが所属する組織では構成する方々をどのように選出していますか。
(自由記述式)

[地域団体長へのヒアリングシート問1]

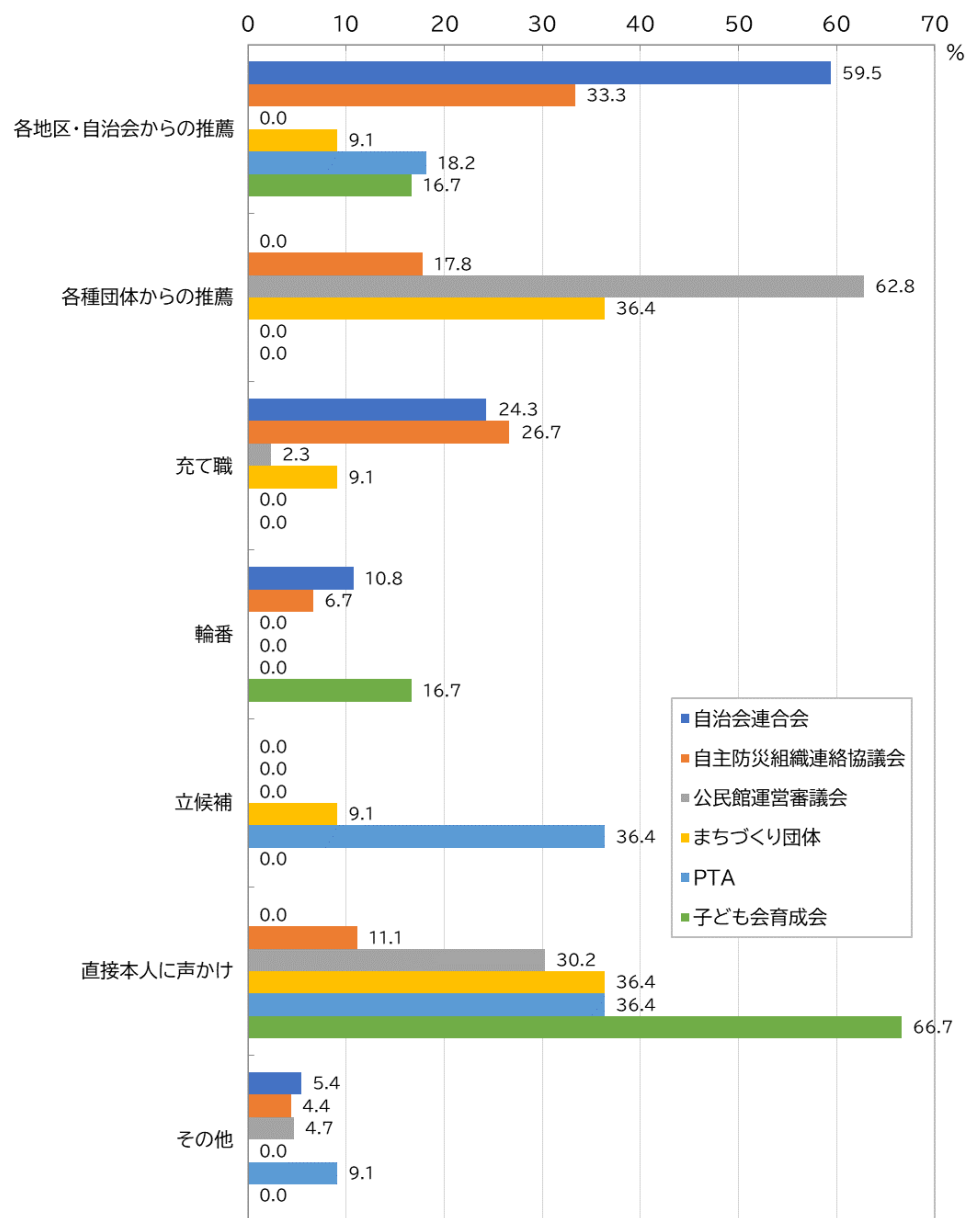
自治会連合会・自主防災組織連絡協議会は「推薦」や「充て職」、
PTA・子ども会育成会は「直接本人に声かけ」が多い

- ・自治会連合会は、「各地区・自治会からの推薦」(59.5%)が最も高く、次いで「充て職(自治会長など)」(24.3%)が高くなっている。
- ・公民館運営審議会は、「各種団体からの推薦」(62.8%)が最も高く、次いで「直接本人に声かけ」(30.2%)が高くなっている。
- ・子ども会育成会は、「直接本人に声かけ」(66.7%)が最も高く、次いで「各地区・自治会からの推薦」、「輪番」(16.7%)が高くなっている。

(単位:%)

	各地区・自治会からの推薦	各種団体からの推薦	充て職	輪番	立候補	直接本人に声かけ	その他
自治会連合会	59.5	0.0	24.3	10.8	0.0	0.0	5.4
自主防災組織連絡協議会	33.3	17.8	26.7	6.7	0.0	11.1	4.4
公民館運営審議会	0.0	62.8	2.3	0.0	0.0	30.2	4.7
まちづくり団体	9.1	36.4	9.1	0.0	9.1	36.4	0.0
PTA	18.2	0.0	0.0	0.0	36.4	36.4	9.1
子ども会育成会	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0

※自由記述式の回答を類似項目ごとに分類し、全体に占める各項目の割合を算出



・地区や自治会からの推薦、充て職（自治会長など）が多い、自治会連合会や自主防災連絡協議会では、各自治会長に男性が多いこともあり、女性の参画が少ない。

※令和3年自治会長における女性の割合：6.0%

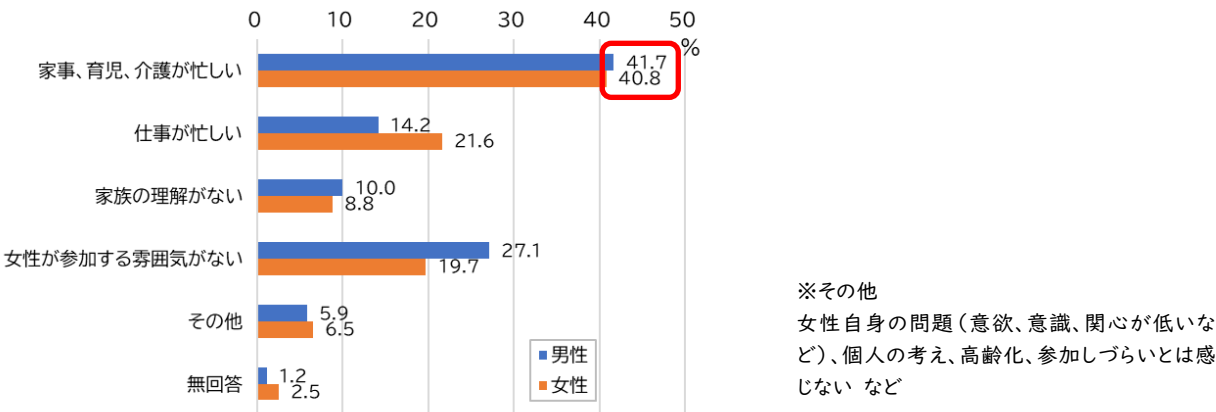
・公民館運営審議会は、「各種団体からの推薦」や「直接本人に声かけ」が大部分を占め、女性の参画は3割以上となっている。一方、まちづくり団体は、選出方法が多岐にわたっているが、女性の参画は2割を切っている。

・子育てに関する団体活動において、PTA と子ども会育成会を比較すると、PTAは「立候補」や「直接本人に声かけ」が同じ割合（36.4%）であるのに対し、子ども会育成会は、「直接本人に声かけ」が66.7%となっている。この点がそれぞれの団体の男女比の違いになっている可能性がある。

- (2) 女性が地域活動（自治会活動、まちづくり活動、防災訓練など）に参加しづらい理由として、どのようなことが考えられますか。（あてはまるものすべてに○）
 [地域団体会員へのアンケート問3]

男女ともに「家事、育児、介護が忙しい」が最も高い

- ・男性の回答は、「家事、育児、介護が忙しい」（41.7％）が最も高く、次いで「女性が参加する雰囲気がない」（27.1％）が高くなっている。
- ・女性の回答は、「家事、育児、介護が忙しい」（40.8％）が最も高く、次いで「仕事が忙しい」（21.6％）が高くなっている。



- (3) 【人数構成で女性割合が少ない場合にお聞きします。】
 女性の参画が少ない理由として、どのようなことが考えられますか。
 （例：家事、育児、介護が忙しい、家族の理解がない等）（自由記述式）

[地域団体長へのヒアリングシート問2]

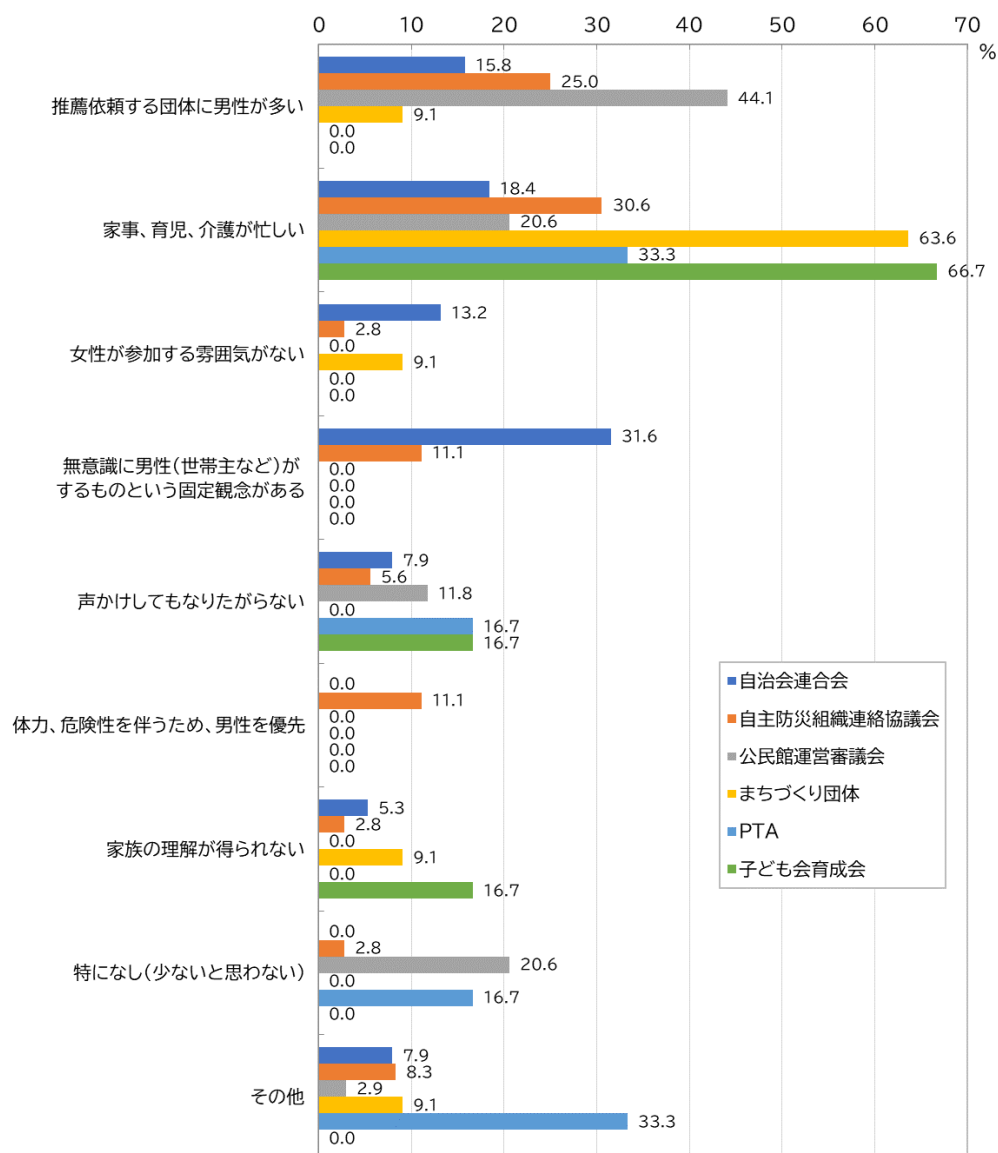
「無意識に男性（世帯主など）がするものという固定観念がある」、
 「推薦依頼する団体に男性が多いから」、「家事、育児、介護が忙しい」の割合が高い

- ・自治会連合会は、「無意識に男性（世帯主など）がするものという固定観念がある」（31.6％）が最も高く、次いで「家事、育児、介護が忙しい」（18.4％）が高くなっている。
- ・自主防災組織連絡協議会は、「家事、育児、介護が忙しい」（30.6％）が最も高く、次いで「推薦依頼する団体に男性が多いから」（25.0％）が高くなっている。

（単位：％）

	推薦依頼する団体に男性が多い	家事、育児、介護が忙しい	女性が参加する雰囲気がない	男性がするものという固定観念	声かけしてもなりたがらない	体力、危険を伴うため、男性を優先	家族の理解がない	特になし（少ないと思わない）	その他
自治会連合会	15.8	18.4	13.2	31.6	7.9	0.0	5.3	0.0	7.9
自主防災組織連絡協議会	25.0	30.6	2.8	11.1	5.6	11.1	2.8	2.8	8.3
公民館運営審議会	44.1	20.6	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	20.6	2.9
まちづくり団体	9.1	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
PTA	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3
子ども会育成会	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0

※自由記述式の回答を類似項目ごとに分類し、全体に占める各項目の割合を算出



- ・自治会連合会や自主防災組織連絡協議会の活動は、「男性（世帯主）がするもの」という固定観念と、女性は「家事・育児・介護で忙しい」という考えから、男性は地域活動、女性は家庭という固定化された男女の役割分担があることが伺える。
- ・公民館運営審議会やまちづくり団体は、構成員の多数を各種団体からの推薦により選出しており、その依頼先の団体構成員に男性が多いことが女性の参画が少ない一因となっている。
- ・構成員をまちづくり団体や PTA、子ども会育成会では、「直接本人に声かけ」で選出しているが、「家事・育児・介護で忙しい」との理由で、女性の参画につながっていないことが伺える。

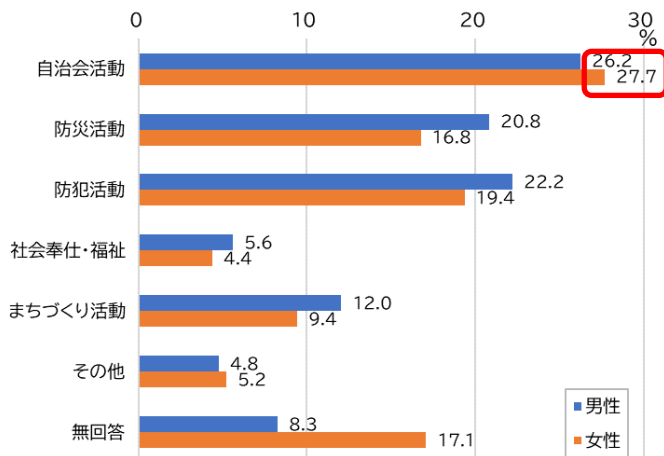
(4) 女性の視点が取り入れられていないと思う場面はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

[地域団体会員へのアンケート問4]

男女ともに「自治会活動」が最も高い

- ・男性、女性ともに「自治会活動」(26.2%、27.7%)が最も高く、次いで「防犯活動」(22.2%、19.4%)、「防災活動」(20.8%、16.8%)が高くなっている。



※その他 職場、政治、体育大会 など

(5) あなたの所属する組織では、女性の意見を取り入れるために、何か工夫をしていますか。しているとすればどのような工夫ですか。(自由記述式)

[地域団体長へのヒアリングシート問3]

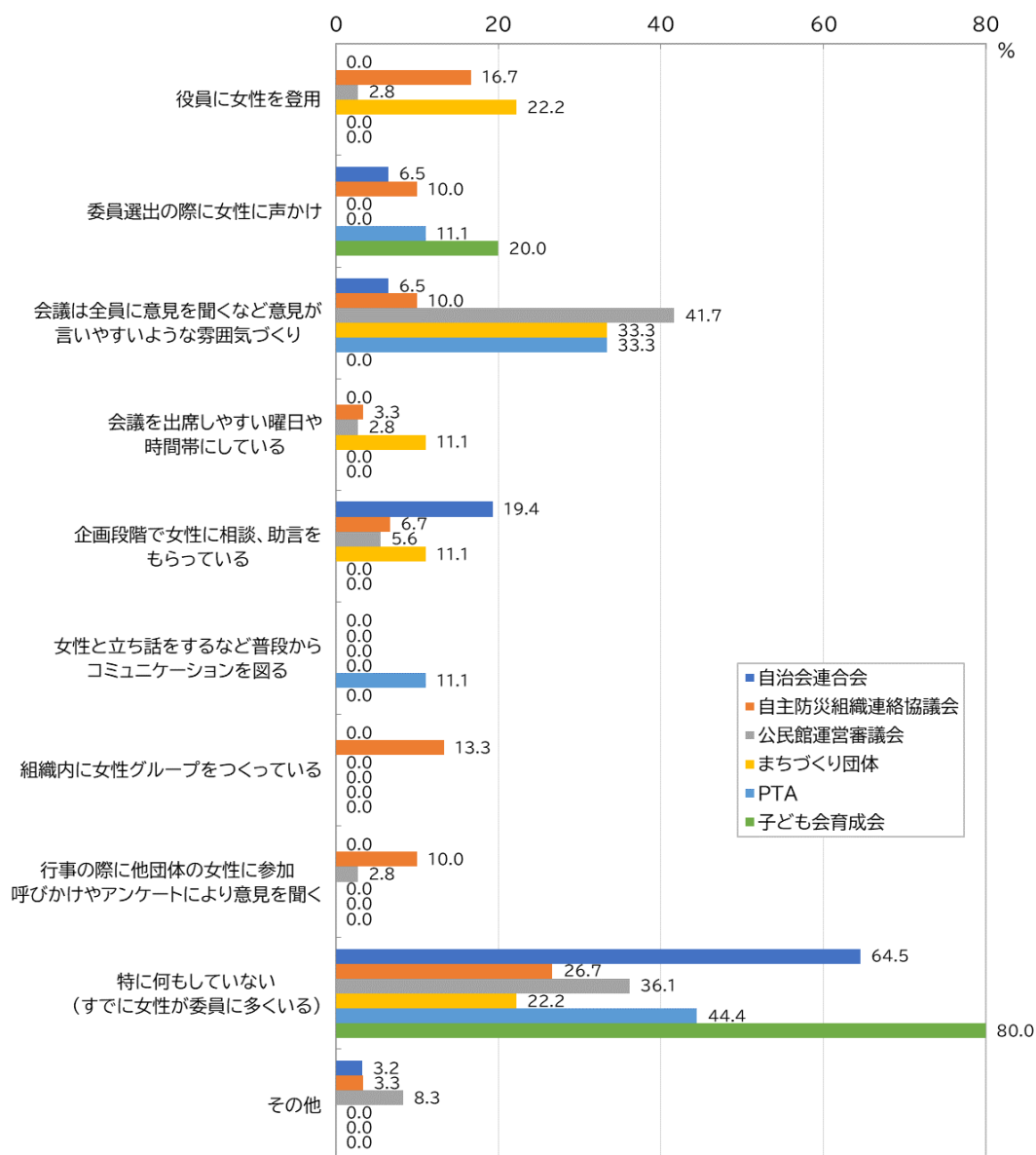
自治会連合会は「特に何もしていない」が6割以上
公民館運営審議会、まちづくり団体、PTAは「意見が言いやすいような雰囲気づくり」が多い

- ・自治会連合会は、「特に何もしていない」(64.5%)が最も高く、次いで「企画段階で女性に相談、助言をもらっている」(19.4%)が高くなっている。
- ・公民館運営審議会は、「会議は全員に意見を聞くなど意見が言いやすいような雰囲気づくり」(41.7%)が最も高く、次いで「特に何もしていない」(36.1%)が高くなっている。

(単位:%)

	役員に女性を登用	委員選出の際に女性に声かけ	意見が言いやすい雰囲気づくり	会議を出席しやすい曜日や時間帯にする	企画段階で女性に相談	普段からコミュニケーションを図る	組織内に女性グループをつくる	他団体の女性に参加呼びかけやアンケート	特に何もしていない(すでに女性が多い)	その他
自治会連合会	0.0	6.5	6.5	0.0	19.4	0.0	0.0	0.0	64.5	3.2
自主防災組織連絡協議会	16.7	10.0	10.0	3.3	6.7	0.0	13.3	10.0	26.7	3.3
公民館運営審議会	2.8	0.0	41.7	2.8	5.6	0.0	0.0	2.8	36.1	8.3
まちづくり団体	22.2	0.0	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
PTA	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	44.4	0.0
子ども会育成会	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0

※自由記述式の回答を類似項目ごとに分類し、全体に占める各項目の割合を算出



- ・自治会連合会では、企画段階で婦人会などの女性の多い団体に相談、助言をもらったり、意見集約の際に、女性の意見を取り入れたりなど工夫をしている。
- ・公民館運営審議会やPTAでは、女性が一定数参画しており、話し合いにおいて、全員に意見を聞くなど、女性委員が意見を出しやすくなるような工夫を行っている。
- ・自主防災組織連絡協議会では女性の多い団体（婦人会、日赤奉仕団、女性防火クラブ）に参画してもらったり、組織内に女性グループを結成したりするなどの工夫を行っている。

- (6) 福井市民意識アンケート調査では、「社会通念・慣習・しきたりなど」の分野で男性優遇を意識している方が 74.2%でした。あなたはどのような場面で男性の方が優遇されていると感じますか。(自由記述式)

[地域団体会員へのアンケート問5]

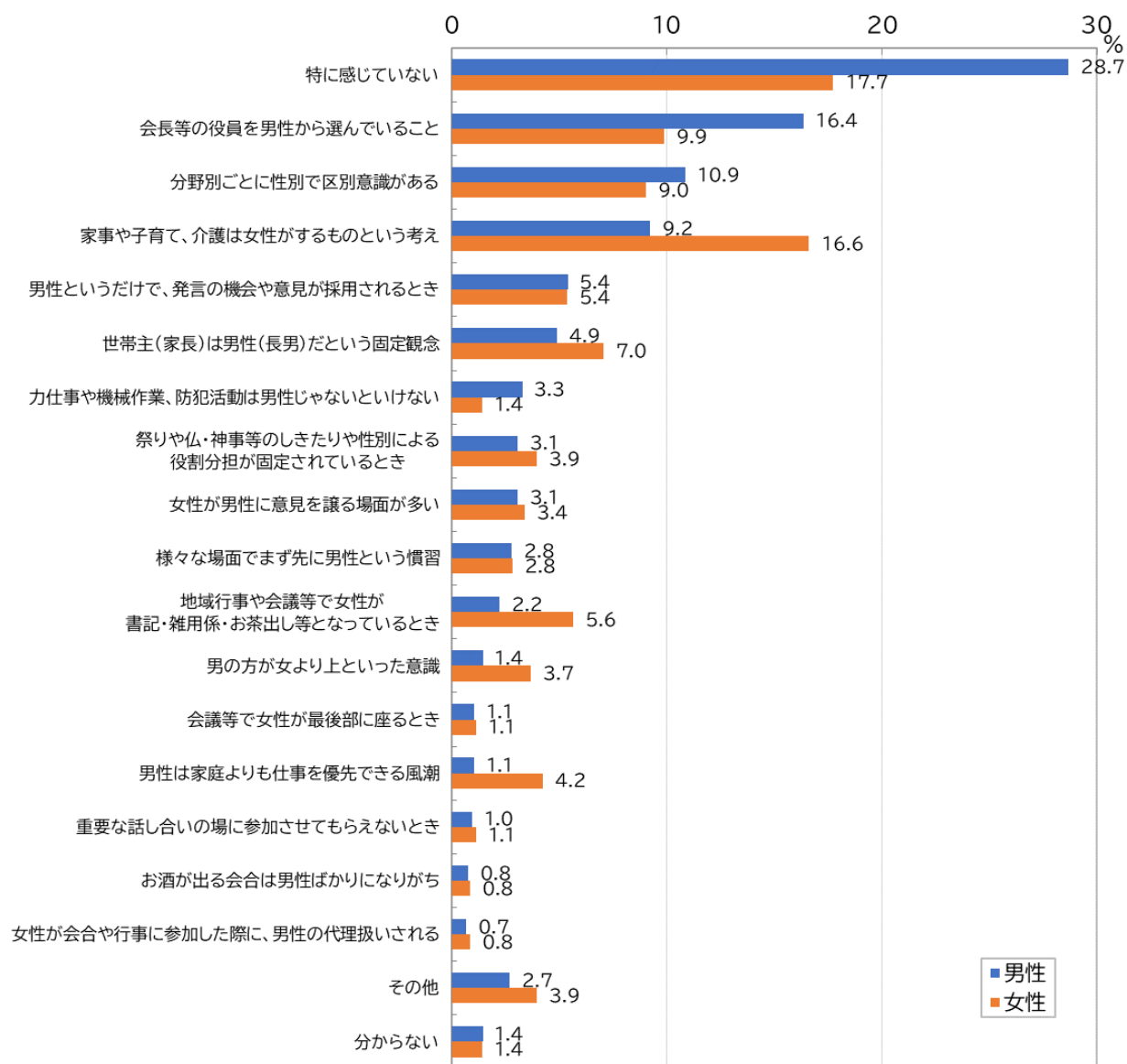
男女ともに「特に感じていない」が最も高い
次いで男性は「会長等の役員を男性から選んでいること」、
女性は「家事や子育て、介護は女性がするものという考え」が高い

- ・男性は、「特に感じていない」(28.7%)が最も高く、次いで「会長等の役員を男性から選んでいること」(16.4%)、「分野別ごとに性別で区別意識がある」(10.9%)が高くなっている。
- ・女性は、「特に感じていない」(17.7%)が最も高く、次いで「家事や子育て、介護は女性がするものという考え」(16.6%)、「会長等の役員を男性から選んでいること」(9.9%)が高くなっている。

(単位:%)

項目	全体	男性	女性
特に感じていない	25.8	28.7	17.7
会長等の役員を男性から選んでいること	14.7	16.4	9.9
家事や子育て、介護は女性がするものという考え (男性が料理や弁当を作るとえらいと言われるなど)	11.1	9.2	16.6
分野別ごとに性別で区別意識がある (女性=教育・福祉、男性=自治会・地域活動・社会活動)	10.4	10.9	9.0
世帯主(家長)は男性(長男)だという固定観念 (冠婚葬祭、喪主は長男など)	5.5	4.9	7.0
男性というだけで、発言の機会や意見が採用されるとき (女性の意見は軽視)	5.4	5.4	5.4
祭りや仏・神事等のしきたりや性別による 役割分担が固定されているとき	3.3	3.1	3.9
地域行事や会議等で女性が 書記・雑用係・お茶出し等となっているとき	3.1	2.2	5.6
女性が男性に意見を譲る場面が多い	3.1	3.1	3.4
力仕事や機械作業、防犯活動は男性じゃないといけない	2.8	3.3	1.4
様々な場面でまず先に男性という慣習	2.8	2.8	2.8
男の方が女より上といった意識	2.1	1.4	3.7
男性は家庭よりも仕事を優先できる風潮 (子どもの病気や行事で仕事を休むのは女性など)	1.8	1.1	4.2
会議等で女性が最後部に座るとき	1.1	1.1	1.1
重要な話し合いの場に参加させてもらえないとき	1.0	1.0	1.1
お酒が出る会合は男性ばかりになりがち	0.8	0.8	0.8
女性が会合や行事に参加した際に、男性の代理扱いされる	0.7	0.7	0.8
その他	3.1	2.7	3.9
分からない	1.4	1.4	1.4

※自由記述式の回答を類似項目ごとに分類し、全体に占める各項目の割合を算出



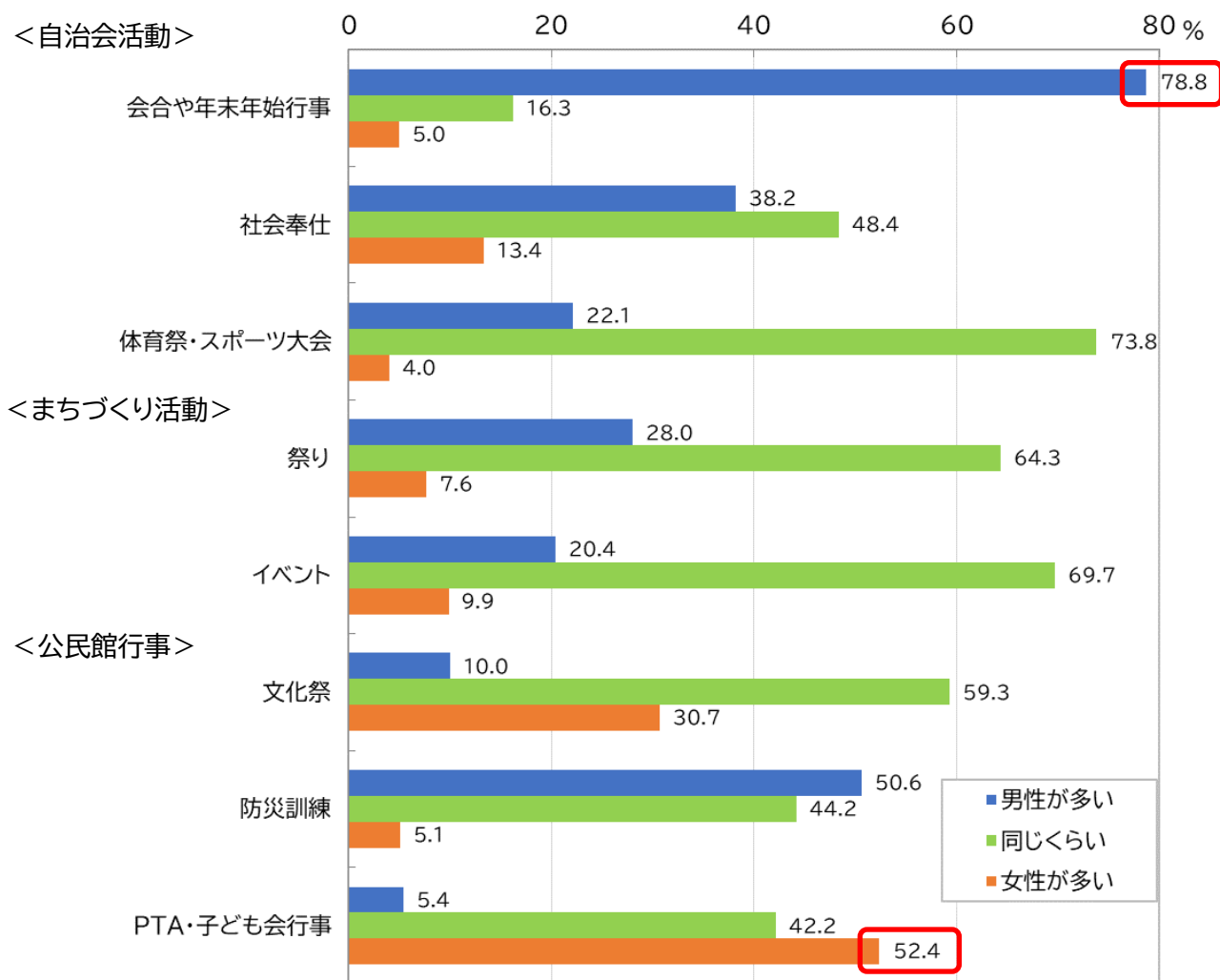
- ・男女ともに「会長等の役員を男性から選んでいること」、「分野別ごとに性別で区別意識がある」という回答が多いことから、性別による役割分担意識が根強いことが伺える。
- ・「家事や子育て、介護は女性がするもの」、「世帯主は男性(長男)」、「地域行事や会議等で女性が書記・雑用係・お茶出し等となっているとき」という回答が一定数あることから、固定観念・無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)があることが伺える。

(7) 地域活動（自治会活動、まちづくり活動、防災訓練など）への参加状況はどうですか。（あてはまるところに○）

[地域団体長へのヒアリングシート問4]

自治会活動の会合や年末年始行事は約8割が男性が多いと回答
PTA・子ども会行事は約5割が女性が多いと回答

- ・会合や年末年始行事、防災訓練は、男性の参加が多い。
- ・PTA・子ども会行事は、女性の参加が多い。
- ・それ以外の活動については、男女同じくらい参加している。



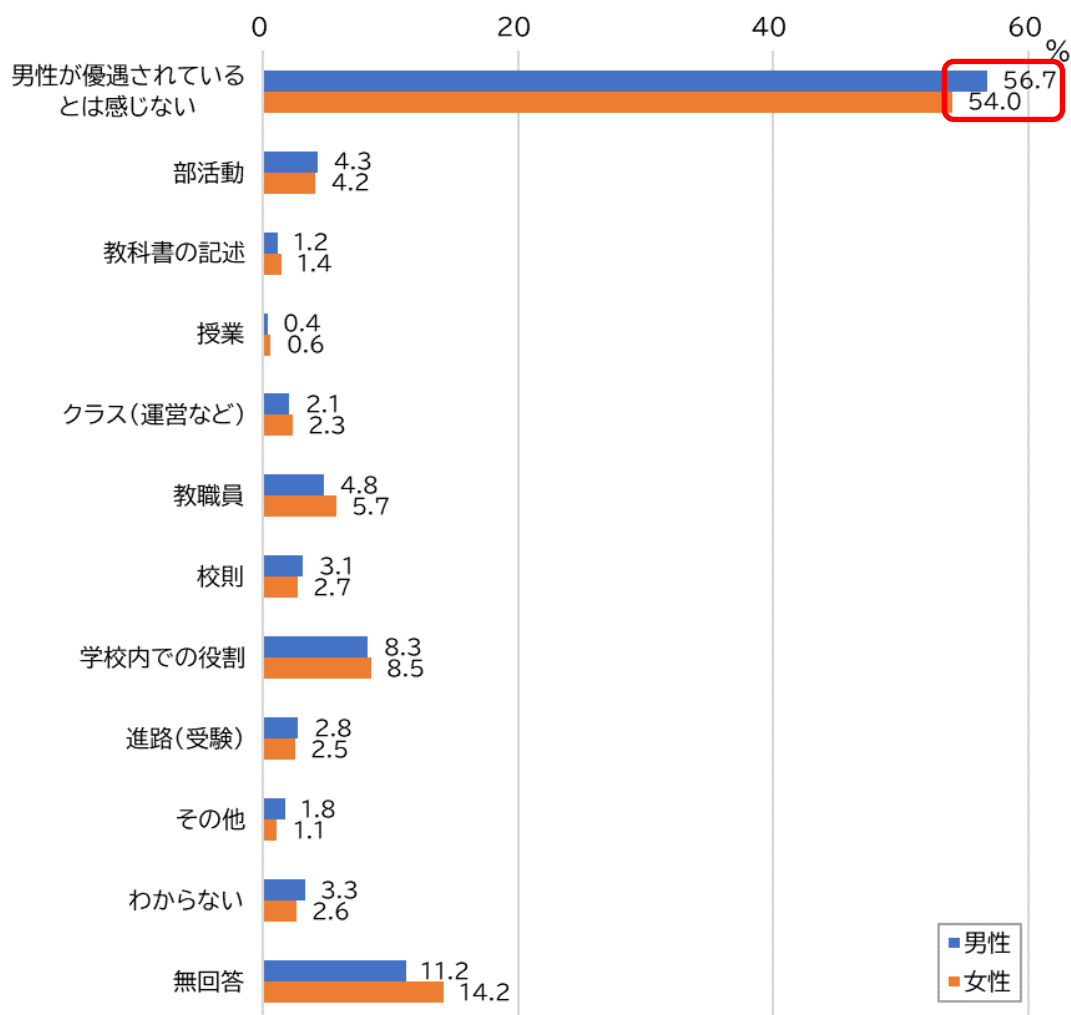
- ・男性は自治会活動、女性は子育てに関係する活動に参加し、家庭内で参加する地域活動の役割分担をしていることが伺える。

- (8) 福井市民意識アンケート調査では、「学校教育の場」の分野では平等と答えた方が59.0%ですが、男性優遇を意識している方が22.6%でした。
あなたは、学校教育のどのような場面で男性（教職員、生徒、児童）の方が優遇されていると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

〔地域団体会員へのアンケート問6〕

男女ともに「男性が優遇されているとは思わない」が5割以上

- ・男性、女性ともに「男性が優遇されているとは思わない」（56.7%、54.0%）が最も高く、次いで「学校内での役割」（8.3%、8.5%）が高くなっている。



※その他・・・体力の差、制服 など

(9) 男女共同参画についてご意見などがあれば、ご記入ください。

(地域の中での男女共同参画について気付いたこと等もご記入ください。)(自由記述式)

[地域団体会員へのアンケート問7]

【主な意見を掲載】

- ・「男の子だから強い子に」「女の子だから優しい子に」など、性別によってイメージを植え付ける声かけは今も昔も変わらない。「性差の押し付け」や「生き方の不自由さ」が依然根強い中では、内心「地域活動をやりたい」と思っている、積極的に参加したいと言える状況にはない。まずこの鎧をぬいてもらうことが大事!それには、ただ声高らかに呼びかけるだけではなく、クチコミ的な方法を模索するのも一方策かと・・・
- ・地道に啓発活動を行っていく事が大切だと思います。
- ・性別に関わりなくお互いを認め合うことが大切だと考えます。まずは社会とか地域よりも各家族や家庭での理解が重要。
- ・男女とも互いに人間として尊重し、「女」「男」というイメージにあてはめなくて、一人ひとりがもっている個性や能力を発揮できれば良いのでは。地域での女性の参画率が低いのは、家事、育児へ参画する男性割合の低さに問題があると思う。
- ・男性、女性それぞれに社会における役割がある事も事実だと思います。ただ、身体的特性による部分(外での力仕事など)以外では何事も協力できると思うので、そういう社会になるべきだと思います。
- ・「男性が優遇されている」と思うか、「責任を負っている」と思うかは職場や家庭の環境によるのかな。男性・女性どちらがどんな立場になってもお互いをしっかりサポートできる社会であってほしい。
- ・男性だから、女性だからという観念に捉われず、その人の得意とする事、持っている能力に焦点を当てて、物事を考えられるといいと思います。
- ・できるできない等女性が意見を言える機会があるだけでも良いと思いました。
- ・女性が今まで担ってきた仕事を男性が、出来るようになれば女性の活躍の場が増えるのではないかな。
- ・女性進出(役員、委員等)を過度に進めることは、かえって女性に負担がかかるのではないかな。
※女性の割合3割以上を達成するために、無理に女性に委員・役員をお願いしていないか。
- ・男性の家事、育児への参画・協力・分担が進めば、社会や地域活動への女性の参画が増えると思います。
- ・女性にどんどん参加していただきたい。
- ・防災分野で、これからは食料や生活用品等の備蓄など、日頃からの災害への備えや、災害時の避難所運営・炊き出し等、女性の視点からの防災・減災対策が極めて重要になってくることから、女性の参加しやすい雰囲気を作ると共に、女性の積極的な参加を期待します。

<地域団体長様>

男女共同参画に関するヒアリングシート

組織名 _____

人数構成 男性_____名 女性_____名 計_____名

問1 あなたが所属する組織では構成する方々をどのように選出していますか。

問2 【人数構成で女性割合が少ない場合にお聞きします。】

女性の参画が少ない理由として、どのようなことが考えられますか。

(例：家事、育児、介護が忙しい、家族の理解がない等)

問3 あなたの所属する組織では、女性の意見を取り入れるために、何か工夫をしていますか。
しているとすればどのような工夫ですか。

問4 地域活動（自治会活動、まちづくり活動、防災訓練など）への参加状況はどうですか。
（あてはまるところに○）

	男性が多い	同じくらい	女性が多い
自治会活動			
会合や年末年始行事			
社会奉仕			
体育祭・スポーツ大会			
その他（ ）			
まちづくり活動			
祭り			
イベント			
その他（ ）			
公民館行事			
文化祭			
その他（ ）			
防災訓練			
PTA・子ども会行事			

ご協力ありがとうございました。

男女共同参画に関するアンケート調査

福井市男女共同参画推進〇〇〇ブロックでは、福井市とともに、地域の現状を把握し、現在策定中の福井市第6次男女共同参画基本計画や今後の推進員の啓発活動に反映するため、アンケート調査にご協力をお願いします。

問1 あなたの性別は。 1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年代は。 1. 30代以下 2. 40代 3. 50代 4. 60代 5. 70代以上

【女性の地域活動への参加状況について】

問3 女性が地域活動（自治会活動、まちづくり活動、防災訓練など）への参加しづらい理由として、どのようなことが考えられますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家事、育児、介護が忙しい 2. 仕事が忙しい 3. 家族の理解がない
4. 女性が参加する雰囲気がない
5. その他（ ）

問4 女性の視点が入り入れられていないと思う場面はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

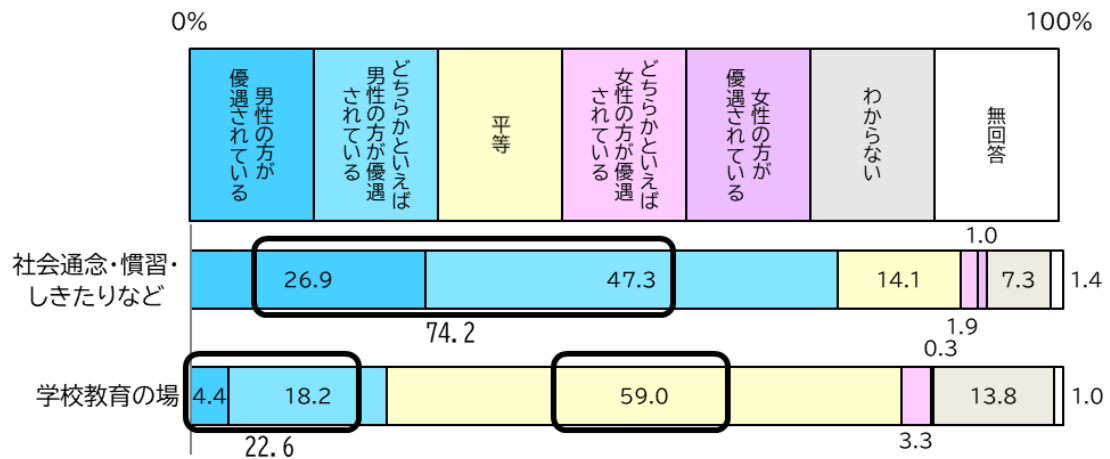
1. 自治会活動 2. 防災活動 3. 防犯活動 4. 社会奉仕・福祉
5. まちづくり活動
6. その他（ ）

問5 「社会通念・慣習・しきたりなど」の分野で男性優遇を意識している方が 74.2%でした。
あなたはどのような場面で男性の方が優遇されていると感じますか。

--

裏面もあります

【参考：男女平等に関する意識について（令和2年度男女共同参画に関する福井市民意識アンケートより）】



問6 上記の福井市民意識アンケート調査では、「学校教育の場」の分野では平等と答えた方が59.0%ですが、男性優遇を意識している方が22.6%でした。

あなたは、学校教育のどのような場面で男性（教職員、生徒、児童）の方が優遇されていると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 男性が優遇されているとは思わない 2. 部活動 3. 教科書の記述
4. 授業 5. クラス（運営など） 6. 教職員 7. 校則
8. 学校内での役割 9. 進路（受験）
10. その他（ ）

【その他】

問7 男女共同参画についてご意見などがあれば、ご記入ください。
(地域の中での男女共同参画について気付いたこと等もご記入ください。)

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和3年度 福井市男女共同参画推進地域事業
地域団体への男女共同参画に関する
アンケート調査報告書

この報告書は、各地区の男女共同参画推進員が調査
した結果を福井市が取りまとめたものです。

令和4年4月発行

福井市 総務部 未来づくり推進局
女性活躍促進課

〒910-0858 福井市手寄1丁目4番1号
アオッサ5階